



クリッポ 35G 35GF

取付説明書

■施工する方へのお願い

このたびは、EKU製クリッポ35G、35GFをご採用いただき、誠にありがとうございます。
取付前に本書をよくお読みいただき、正しく施工されるようお願いいたします。

⚠ 警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。
本書の説明、注意事項をお守りください。

- 本書は、6モデルの製品共通の取付説明書です。
あらかじめ、どの製品モデルをキャビネットに取り付けるかを、図面と照らし合わせてご確認ください。
- 図や説明中に、**GデザインI**、**GデザインII**などのマークが記されています。これは、その図や説明がどのモデルに適用されるかを示したものです。
不要なモデルの図や説明に×印を付けるなどして、該当する製品モデルの項を読み進めてください。
- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- 施工中に発生した木材のかすがレールの中に残らないようにきれいに取り除いてください。
- タッピンねじは、最も近い呼びのねじをお使いください。
- 板の小口にタッピンねじを使うときは、板が割れないよう下穴を開けるなどの処置を行ってください。

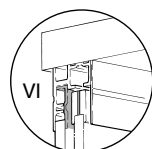
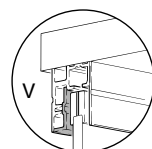
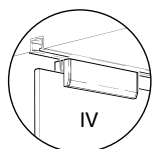
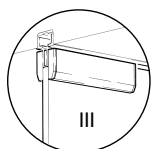
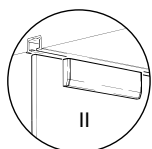
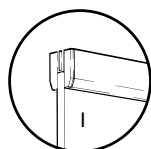
本書は、一品製作のキャビネットに本製品を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。

したがって、必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。

家具メーカー様におかれましては、専門家としての確たる工程をお持ちと考えますので、この説明書に記載された方法にとらわれず、施工される方の専門技術とご経験に基づいて製作してください。

その場合でも、必ず事前にこの取付説明書に一度目を通してくださるようお願いいたします。

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や材料そのものの変形等を考慮しておりません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断等の加工を行ってください。



■取り付けできるドアガラス

1枚当たりの質量	最大 35 kg
ガラスの厚さ	6 ~ 8 mm (強化ガラス)
寸法	最大幅 1000 mm、最大高さ 2000 mm (1枚当たり 35 kgを超えないようにしてください。)

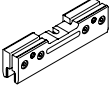



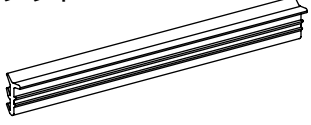


■この説明書で使う工具と準備していただくもの

- 十字ねじ回し
- アルミニウム型材を切断できる機械または工具
- きり 径 4
- きり 径 5 **GFデザインVI**
- きり 径 6 **GF側取付**
- 皿取りドリル 径 8 **GFデザインVI**
- 十字穴付皿タッピンねじ 3×16
- 十字穴付皿タッピンねじ 4×40 **GFデザインVI**
- 十字穴付なべタッピンねじ 5×20 **GF側取付**
- スパナ 呼び 8 (2本)
- 六角棒スパナ 呼び 3
- セッティングブロック 厚さ 1 mm **GFデザインVI**

■部品

それぞれ、以下の品番が記載された袋を組み合わせ用います。

- 35G 53-3163-071、53-3163-072 (デザインIは1袋、デザインII・III・IVは2袋)
 35GFデザインV ... 53-3163-071
 35GFデザインVI ... 53-3163-071、53-3163-073

53-3163-071	ローラ 2個 	クランプ 2個 	ストッパ 2個 
	ガイド 1個 	スペーサ 1個 	ガスケット 2個 
	六角ボルト M5×20 六角ナット付 2本		十字穴付タッピンねじ 3×12 GFデザインVI 2本
53-3163-072	化粧キャップ 2個 	53-3163-073	
	アタッチメント 4個 		
53-3163-073		枠カバー 1個 	
		パッキン 4個 	

本書に記載された製品の品名・品番・仕様・外観は、改良のために予告なく変更することがあります。
 この取付説明書の内容に関するご質問は、アーキテクト・サポート室 (建築設計事務所様向け技術相談) TEL 03-3864-1122 までご連絡ください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03 (3864) 1122**
 受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875
 E-mail: support@sugatsune.co.jp
 東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
 LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

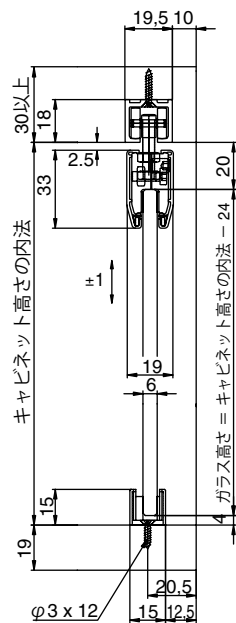
ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>

■必要な部品とオプション部品

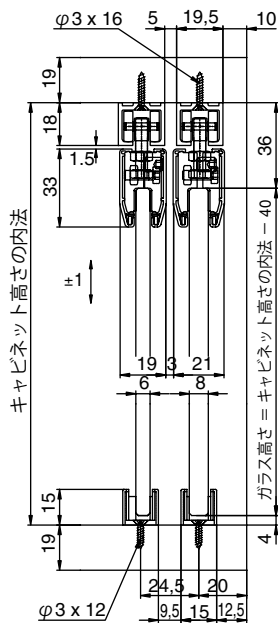
上レール		53-3117-250
上レール アルマイト処理付		53-3069-250
クランプカバー		53-3168-250
固定ガラス押え (GF)		53-3071-250
固定ガラス受け (GF)		53-3072-250
幕板 (GF)		53-3075-250
スリーブ (GF)		44-0010-081
十字穴付皿タッピンねじ3種 M3×8		98-0007-101

〈断面図〉

G

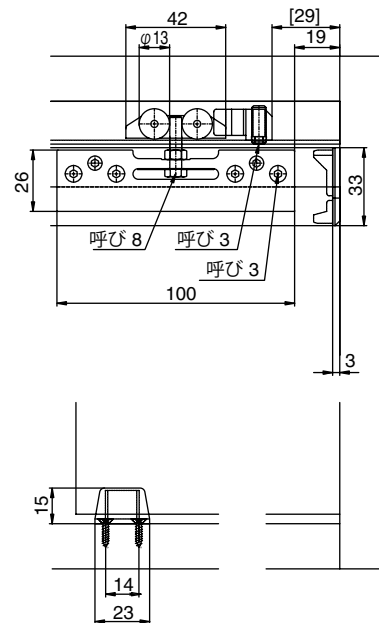


天板に埋め込んだ例



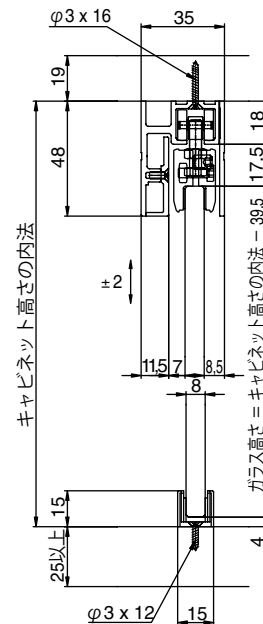
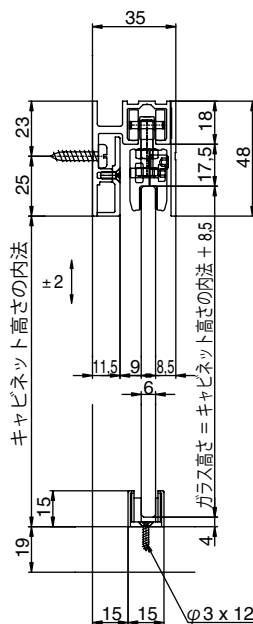
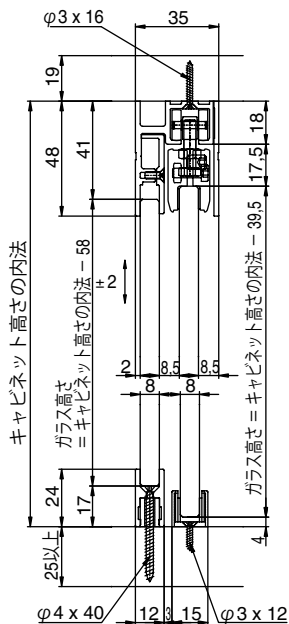
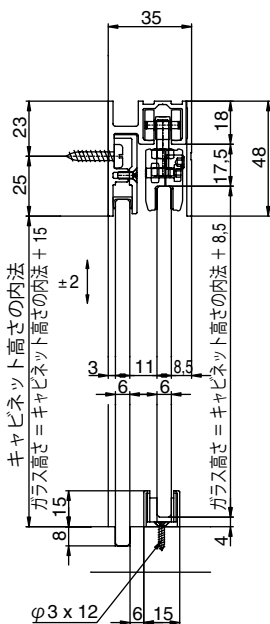
天板に面付けした例

G GF



[]内寸法は、ドアの前端とキャビネットの側板とのすき間を見込んでいない寸法です。ここにすき間を設けるときは、この寸法にすき間の寸法を加えてください。

GF



■取付手順

1 上レール（セットには含まれていません。）を切断します。 **G共通** **GF天井取付**

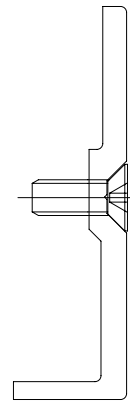
- ① 上レールをキャビネット間口の内法で切断してください。
※ 切りくずが上レールの中に残らないように、きれいに取り除いてください。
- ② 切断によって、端から約 50 mmのところを取付穴がなくなった場合、端から 50 mmのところ径 4 mmの穴を開けてください。

2 上レール（セットには含まれていません。）を切断します。 **GF側取付**

- ① 上レールをキャビネット間口の内法で切断してください。
※ 切りくずが上レールの中に残らないように、きれいに取り除いてください。
- ② 切断したあと、端から約 30 mmのところ径 6 mmの穴を開けてください。

3 固定ガラス押え（セットには含まれていません。）を切断します。 **GFデザインV**

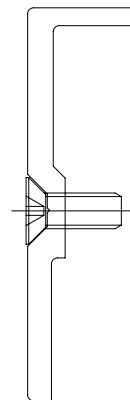
- ① 固定ガラス押えを、キャビネット間口の内法で切断してください。
ここで切断したものを、以降は名称を変えて「レールカバー」と呼びます。
使うときの向きは右の図のとおりです。
※ 切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。



レールカバー

4 固定ガラス押え（セットには含まれていません。）を切断します。 **GFデザインVI**

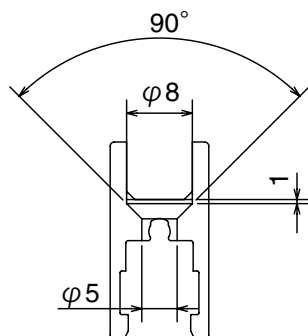
- ① 固定ガラス押えを、固定ガラスの幅で切断してください。
ここで切断したものを、以降も名称を変えずに「固定ガラス押え」と呼びます。
使うときの向きは右の図のとおりです。
※ 切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- ② 固定ガラス押えを、（キャビネット間口の内法 - 固定ガラスの幅）で切断してください。
ここで切断したものを、以降は名称を変えて「レールカバー」と呼びます。
使うときの向きは **3** の図をご覧ください。
※ 切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。



固定ガラス押え

5 固定ガラス受け（セットには含まれていません。）を切断します。 **GFデザインVI**

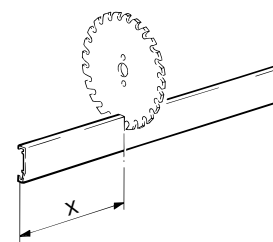
- ① 固定ガラス受けを、（固定ガラスの幅 - 3）mmで切断してください。
- ② 両端部から 50 mmの位置と、その間を 300 mm以下の間隔で、径 5 mmの穴を開けてください。
これらの穴に、径 8 でさら加工を行ってください。
※ さら頭は、加工面から 1 mm以上沈めてください。
- ③ 取付穴の位置をキャビネットの地板に写し、下穴を開けてください。



6 クランプカバー（セットには含まれていません。）を切断します。 **G共通**

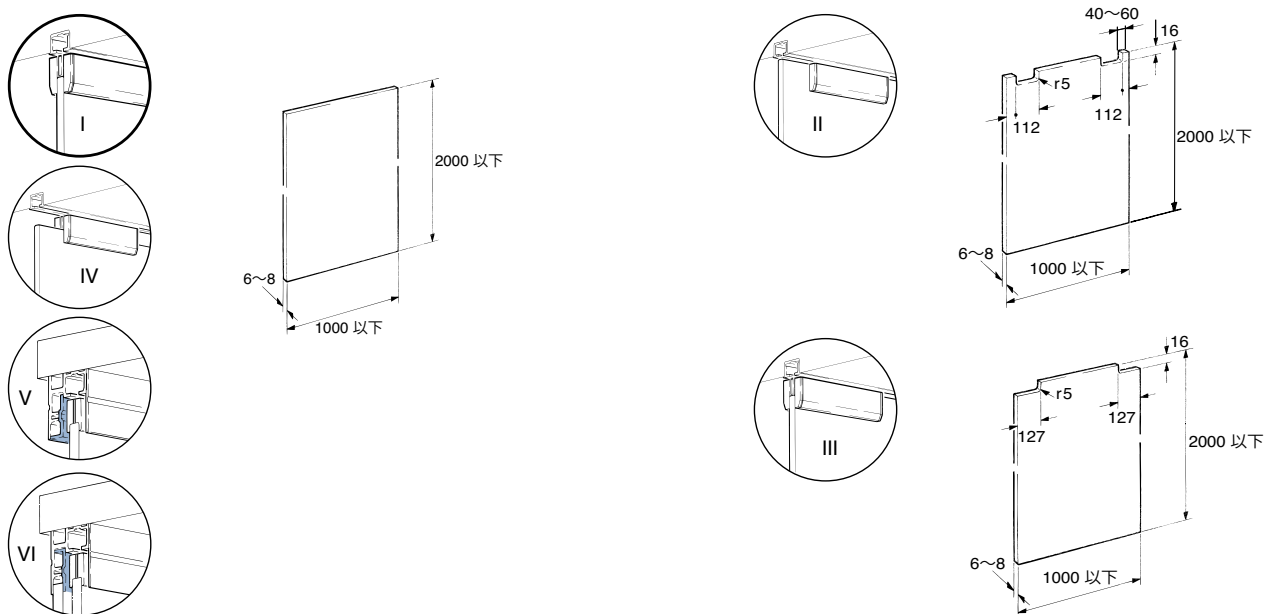
- ① クランプカバーをドアのデザインに応じて、下の寸法（図のX）で切断してください。
デザインIのとき : （ドアの幅 - 6）mm
デザインII、III、IVのとき : 126 mm以上

※ 切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。



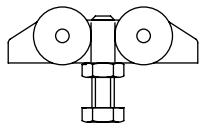
<参考>

ガラスの大きさの範囲と、クランプカバー取り付けのための加工寸法は、下図をご覧ください。



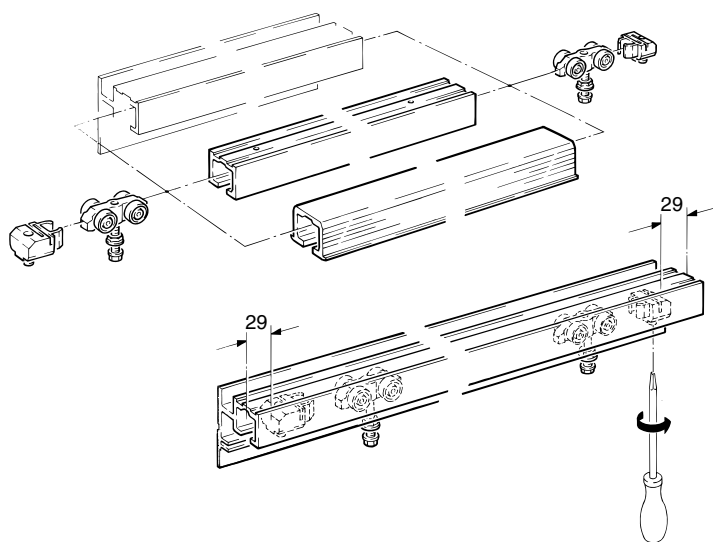
7 ローラを仮組みします。

- ① 六角ナット M5×20 に六角ボルト M5×20 のねじ部の半分くらいねじ込んでください。
- ② この六角ボルトをローラに、ナットが当たるくらいまで、組み込んでください。



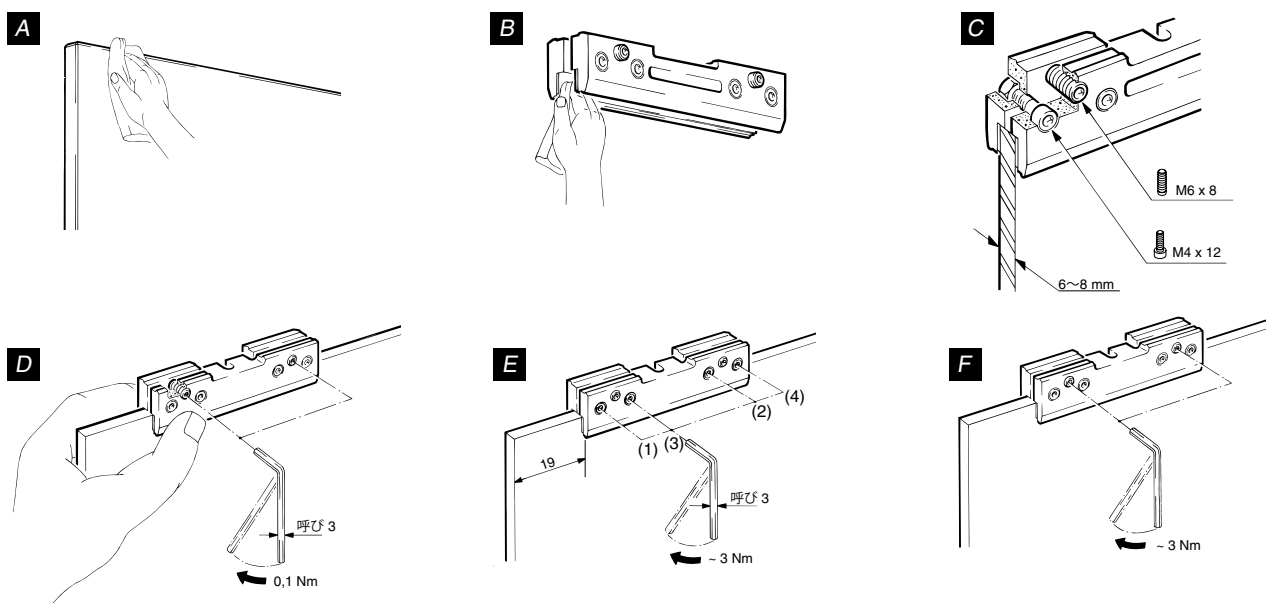
8 上レールを仮組みします。

- ① ローラを上レールに組み込んでください。
- ② ストップを上レールの両端から、29 mmずつのすき間を作って、レールの中央にキャッチを向けて、六角棒スパナ呼び 3 で取り付けてください。
※ ドアの前端とキャビネット側板との間にすき間を設けるときは、上の寸法にそのすき間分を加えてください。
- ③ ローラをストップに噛ませてください。



9 ドアを組み立てます。

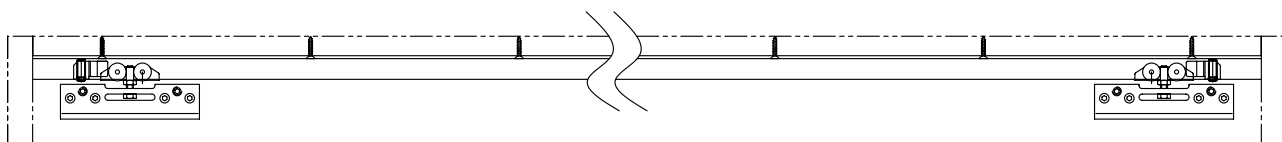
- ① ガラスの、クランプと接触する部分のごみや油をきれいにふき取ってください。
- ② クランプの内側のごみや油をきれいにふき取ってください。
- ③ クランプをガラスの取付面に置き、クランプの内側とガラスが密着するように手で押さえてください。
クランプは、ボルト取付用のU字型溝を二つとも向こう側に向けてください。
- ④ クランプを動かさないように、クランプの上側にある六角穴付止めねじを反対側の面に当たるまで、六角棒スパナ 呼び 3 で軽く締めてください。
このときはまだ、きつく締め込まないでください。
- ⑤ 六角穴付ボルトを、下図の (1) ~ (4) の順に締め付けトルク約 3 Nm で締め付けてください。
このとき、一度でこのトルクにせず、数回に分けてこのトルクになるようにしてください。
締め付け順序は、(4) ~ (1) と逆になってもかまいません。
- ⑥ 上の④で締めた六角穴付止めねじも、同様に締め込んでください。



10 キャビネットを組み立ててください。

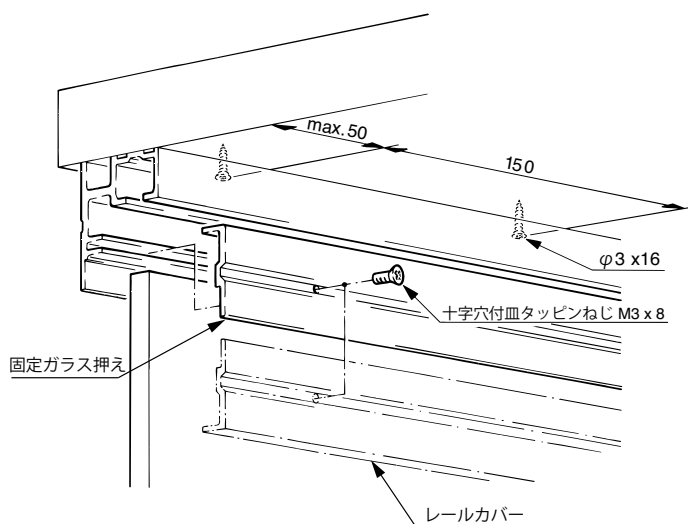
11 上レールをキャビネットに取り付けます。 G共通

- ① 上レールをキャビネットの天板に、タッピンねじ 3×16 で止めてください。
※ 上レールに開いている穴は全部使ってください。



12 上レールをキャビネットに取り付けます。 GF天井取付

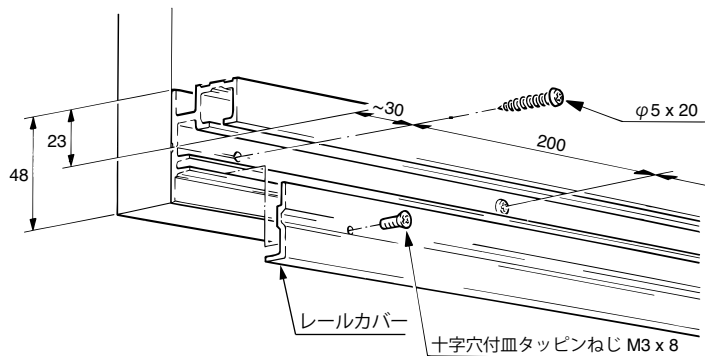
- ① 上レールをキャビネットの天板に、タッピンねじ 3×16 で止めてください。
- ※ 上レールに開いている穴は全部使ってください。
- ※ ここではまだ、固定ガラス押えおよびレールカバーは取り付けないでください。



16 3. をご覧ください。

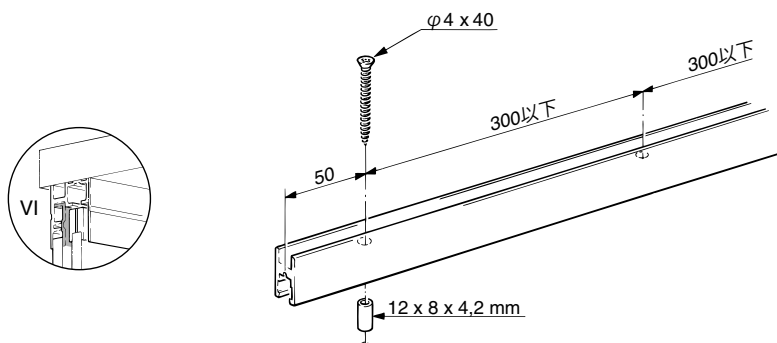
13 上レールをキャビネットに取り付けます。 GF側取付

- ① 上レールをキャビネットの壁に、タッピンねじ 5×20 で止めてください。
- ※ 上レールに開いている穴は全部使ってください。
- ※ ここではまだ、レールカバーを取り付けないでください。



14 固定ガラス受けをキャビネットに取り付けます。 GFデザインVI

- ① 固定ガラス受けを図のように、スリーブを介してキャビネットの地板に、十字穴付皿タッピンねじ 4×40 で取り付けてください。
- ※ 固定ガラス受けに開いている穴は全部使ってください。



15 ガイドをキャビネットに取り付けます。

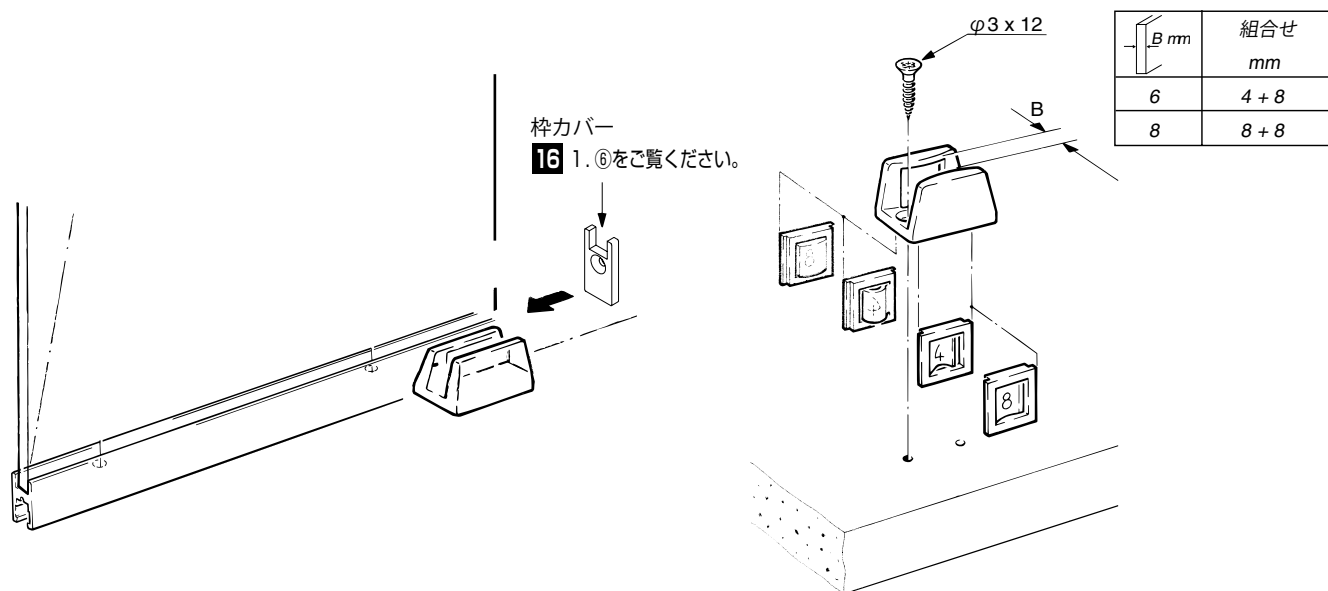
1. ガイドをキャビネットに取り付けます。

① ガイドを、キャビネット間口の中央で、ドアの移動線上にタッピンねじ 3×12 で取り付けてください。

2. ガイドにスペーサを組みます。

① ドアガラスの厚みが 8 mm のときは、記号 8 のスペーサを各 1 枚組み込んでください。

② ドアガラスの厚みが 6 mm のときは、記号 4 のスペーサを 1 枚、記号 8 のスペーサを 1 枚組み込んでください。



16 固定ガラスを組み込みます。GFデザインVI

※ 9ページ 12 の図をご覧ください。

1. 固定ガラスを組み込みます（固定ガラス受けを使うとき。）

① 厚さ 6 mm の固定ガラスをお使いのときは、パッキンを固定ガラスの上辺、下辺の左右の端に配置してください。

② 厚さが 8 mm の固定ガラスをお使いのときは、厚さ 1 mm のセッティングブロックを配置してください。

③ 固定ガラスを固定ガラス受けに差し込み、上レールに立てかけてください。

④ 固定ガラス押えの短い方のフランジを、上レールの凹部に差し込んで固定ガラスを挟んでください。

⑤ 固定ガラス押えの溝部に開いている穴に、十字穴付皿タッピンねじ3種 M3×8 で、固定ガラスを止めてください。

⑥ 固定ガラス受けの下端のキャビネットの中央側の枠に、枠カバーを十字穴付タッピンねじ 3×12 で止めてください。
15 の図をご覧ください。

2. 固定ガラスを組み込みます。（床に呑み込ませるとき。）

① 床に呑み込ませるときは、1. の①～④における「固定ガラス受け」を「(床の) 溝」と読みかえて作業を行ってください。

このとき、⑥の作業は不要です。

3. レールカバーを取り付けます。

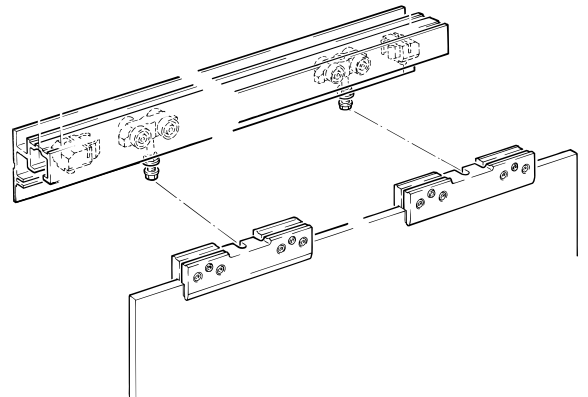
- ① レールカバーを、溝部に開いている穴を使って、固定ガラスのないところに、十字穴付皿タッピンねじ3種 M3×8 で上レールに取り付けてください。
5ページ **3** の図および9ページ **12** の図をご覧ください。
※ これは上レールの目隠しになります。

17 レールカバーを組み込みます。 **GFデザインV**

- ① レールカバーを、溝部に開いている穴を使って、十字穴付皿タッピンねじ3種 M3×8 で上レールに取り付けてください。
5ページ **3** の図および9ページ **13** の図をご覧ください。

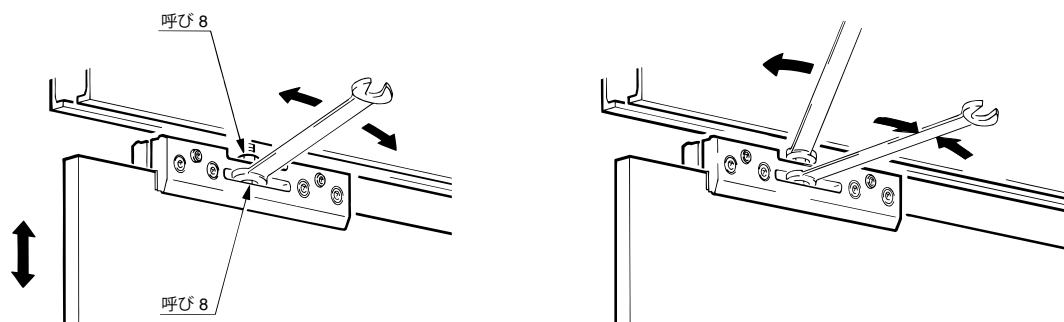
18 ドアガラスを吊り込みます。

- ① ドアガラスの下端をフロアガイドに差し込んでください。
- ② クランプのU字型の溝をローラのボルトとナットの間につっ掛けてください。
※ ボルトがクランプのU字型の溝の奥に届くまで、確実に挿入してください。
ドアガラスを落とさないよう注意してください。



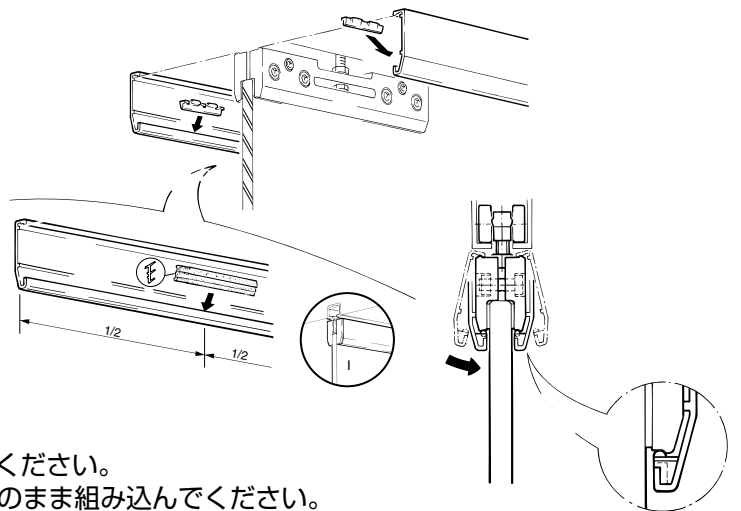
19 ドアガラスの高さ調整を行います。

- ① ローラのボルトをスパナ 呼び 8 で締め込んでください。
※ ドアガラスの下端が床仕上げ面から 4 mm 浮く状態になるよう調整してください。
※ クランプからボルトが外れないよう、ご注意ください。
- ② もう一方のローラも同様の調整を行い、ドアガラスが水平になったら、六角ナットを六角スパナ 呼び 8 でクランプを挟むように締め込んでください。

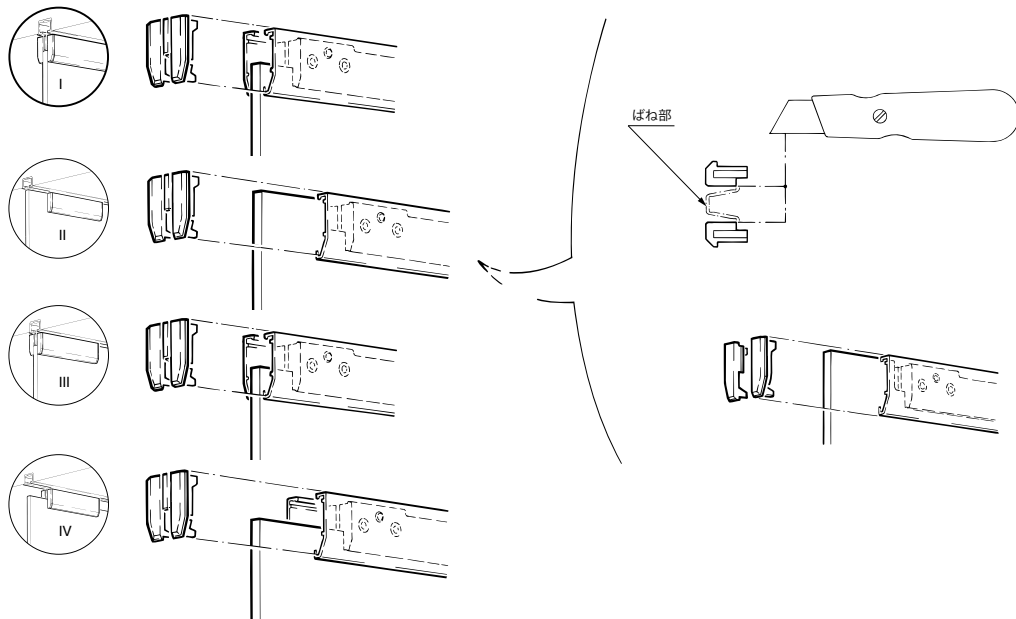


20 クランプカバーを取り付けます。 G共通

- ① デザイン I のときは、ガスケットをクランプカバーの中央に組み込んでください。
- ② クランプカバーがクランプ中央にあたる場所に、右図のようにアタッチメントを引っ掛けてください。
- ③ クランプカバー内側の肩にアタッチメントのつめを引っ掛けてから、クランプにはめてください。
※ 正しく取り付けられると、ぱちんと音がします。



- ④ 化粧キャップを、クランプカバーの端部に組み込んでください。
デザイン I : 化粧キャップをドア 1 枚につき 2 個、そのまま組み込んでください。
デザイン II : 化粧キャップをドア 1 枚につき 4 個、中央のばね部を切り離して組み込んでください。
デザイン III : 化粧キャップをドア 1 枚につき 2 個はそのまま外側の端部に、残りの 2 個は、ばね部を切り離して内側の端部に組み込んでください。
デザイン IV : 化粧キャップをドア 1 枚につき 4 個、そのまま組み込んでください。
※ 切り離したばね部は使いません。



21 幕板を取り付けます。 GF共通

- ① 幕板の裏側に、両端から 10 mm と、そこから約 300 mm の間隔で、両面粘着テープを貼ってください。両面粘着テープは、幅 12 mm、厚み 0.5 ~ 1.0 mm のものを約 30 mm の長さに切ってください。

